

佐久市公共施設等総合管理計画に基づく  
図書館 個別施設計画

【大分類：社会教育系施設】

【中分類：図書館】

令和4年3月

佐久市教育委員会

社会教育部中央図書館

# ～目 次～

## 第1章 個別施設計画の概要

- 1 背景・目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 3 対象施設の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 4 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

## 第2章 現状評価

- 1 基本情報の把握・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- 2 現状評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
  - (1) 施設の現状情報の収集・整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
  - (2) 施設の方向性に関する検討【1次評価】・・・・・・・・・・20

## 第3章 政策優先度評価

- 1 各種計画における位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
- 2 政策優先度評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
  - (1) 施設の政策優先度に関する情報の収集・整理・・・・・・・・・・29
  - (2) 施設の基本方針に関する検討【2次評価】・・・・・・・・・・30

## 第4章 適用可能な手法の選定と具体的な対策

- 1 適用可能な手法の選定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
  - (1) 機能保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
  - (2) 建替再整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
  - (3) 総量コントロール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
  - (4) 施設不足の解消・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
- 2 具体的な対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

## 第5章 対策費用の概算と実施時期

- 1 対策費用の概算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
  - (1) 試算条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
  - (2) 試算結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
- 2 実施時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
- 3 維持管理に係る費用の推計・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
- 4 工程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44

## 第1章 個別施設計画の概要

### 1 背景・目的

本市では、今後、多くの公共施設が老朽化に伴う更新時期を迎えることから、更新や維持に掛かる多額の費用への対応が課題となっています。

また、国立社会保障・人口問題研究所の推計（2015年国勢調査ベース）では、年少人口や生産年齢人口が既に減少を始めており、令和42年（2060年）には平成27年（2015年）時点の約半数まで減少し、人口減少が加速度的に進行していくとされています。

こうした状況に伴い、将来における税収減少が見込まれる中では、施設をそのまま維持していくことは難しく、今後の施設の方向性（更新・集約・廃止等）を検討する必要があります。

少子化による人口減少などに伴い、厳しい財政状況が見込まれる中においては、公共施設等の適正な配置や管理の効率化を図るために策定した「佐久市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」に掲げる数値目標の達成を目指し、基本方針に定めた「量的見直し」「質の見直し」「費用負担の見直し」「管理体制の見直し」の4つの視点に基づく具体的な取組を着実に進めていくため、個別施設計画を策定します。

本計画が対象とする図書館に分類される施設は、市内に5施設あります。

現在、年次計画に基づいて、老朽化対策等を実施していますが、多くの施設を抱える状況下においては、将来にわたって財源を確保し、あるいは膨大な維持管理コストを抑制することが大きな課題となっています。

個別施設計画では、施設毎の健全性や経済性等の状況を把握・分析し、将来を見据えた施設の基本方針や具体的な対策内容等について考え方を整理するとともに、建替え・大規模改修等の対策を計画的に進めるためのスケジュールを示し、本計画を着実に遂行することで、財政負担を軽減・平準化し、公共施設等の適切な保全と最適な配置を実現することを目的とします。

## 2 計画の位置付け

本計画は、対象施設の将来のあり方に関する基本方針や具体的な対策内容等について考え方をまとめるとともに、施設整備等の対策を講じる時期を定めるものであることから、総合管理計画を着実に推進するための行動計画と位置付けます。

併せて、「第二次佐久市総合計画」や、教育・文化振興を目的に策定された「佐久市教育振興基本計画」、「佐久市文化振興計画」を上位計画に位置付け、十分な整合を図ります。

## 3 対象施設の設定

本計画においては、以下の5施設を対象とします。

なお、対象施設の運営・利用状況を説明する資料として、「佐久市公共施設運営・利用状況調書（施設カルテ）」を添付します。

### （1）対象施設一覧

- ア 中央図書館
- イ サングリモ中込図書館
- ウ 臼田図書館
- エ 浅科図書館
- オ 望月図書館

## (2) 対象施設位置図

### ア 中央図書館



### イ サングリモ中込図書館





# 才 望月図書館



### (3) 佐久市公共施設運営・利用状況調書（施設カルテ）

施設番号		601		佐久市立中央図書館				(基準日) 2021年3月31日現在			
<b>1 施設データ</b>											
所管部署	社会教育部 中央図書館 図書館係										
所在地	佐久市猿久保44番地1				地区	浅間					
施設類型	大分類	社会教育系施設									
	中分類	図書館									
避難所・避難場所	—	配置形態	単独								
業務内容	図書館資料の収集・整理・管理・保存を行い、利用者が必要とする情報の提供(レファレンスサービス)										
設置目的	資料や情報の提供等を行う生涯学習の拠点となり、住民が心豊かに生活できるよう、教育と文化の発展に寄与するため										
設置条例	佐久市立図書館条例										
<b>2 建物データ</b>											
建築年(経過年数)	昭和	54	年	(42年)	大規模改修年度	—		構造形式	RC造	耐震診断	未実施
延床面積	1,669.88		m <sup>2</sup>	棟数	2	棟	階数(最大)	地上	2階	地下	—
耐震補強	不明										
<b>3 土地データ</b>											
土地面積	7,487.71		m <sup>2</sup>	土地の保有区分	市所有		用途地域	—			
<b>施設運営状況</b>											
<b>1 管理運営状況</b>											
運営形態	直営		指定管理期間	—							
備考											
<b>2 サービス提供状況</b>											
開館時間及び運営体制	平日(火曜～金曜)	9時30分～18時30分				土・日・祝日	9時30分～18時				
	備考	正職4人、会計年度任用職員5人				正職2人、会計年度任用職員5人					
休館日	定期休館日	月曜日、毎月最終火曜日				年末年始等	12月29日～1月3日、特別整理期間				
料金体系											
<b>3 コスト状況、利用状況</b>											
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	過去3年度平均				
歳出(①) 単位:千円				106,643	89,419	99,489	98,517				
管理にかかるコスト				25,123	17,112	22,413	21,549				
修繕費				10,043	499	684	3,742				
使用料・賃借料				1,928	2,829	3,029	2,595				
建物管理委託費				13,152	13,784	18,700	15,212				
その他				0	0	0	0				
建物整備・大規模改修にかかるコスト				14,361	14,361	14,361	14,361				
再調達価格				14,361	14,361	14,361	14,361				
工事請負費				0	0	0	0				
事業運営にかかるコスト				67,159	57,946	62,715	62,607				
燃料費・光熱水費				3,376	3,345	2,840	3,187				
人件費				53,384	44,882	48,161	48,809				
事業運営委託料				0	0	0	0				
その他				10,399	9,719	11,714	10,611				
歳入(②) 単位:千円				95	99	75	90				
特定財源				0	0	0	0				
施設使用料、手数料収入等				95	99	75	90				
収支(②-①) 単位:千円				△ 106,548	△ 89,320	△ 99,414	△ 98,427				
延床面積1㎡あたりの経費(①/延床面積)				63,863円	53,548円	59,579円	58,996円				
年間利用者数(③)				190,079人	178,200人	130,673人	166,317人				
利用者一人あたりの経費(①/③)				561円	502円	761円	608円				
備考	使用料・賃借料、委託費は5館(中央、臼田、浅科、望月、サングリモ)合わせての額										



4 施設構成一覧											
NO	棟名または施設名	建築年度	構造	延床面積 (㎡)	階数	NO	棟名または施設名	建築年度	構造	延床面積 (㎡)	階数
1	佐久市立中央図書館	昭和	54	RC造	1,640.53	2	6				
2	自動車庫	平成	14	軽量鉄骨造	29.35		7				
3							8				
4							9				
5							10				
備考							合計				1,669.88

5 スペース構成									
NO	部屋名	面積(㎡)	利用料金 (円/h)	備考	NO	部屋名	面積(㎡)	利用料金 (円/h)	備考
1	開架・閲覧スペース	970.39			7				
2	閉架書庫	89.05			8				
3	視聴覚室	78.98			9				
4	学習室	125.38			10				
5					その他共有部		376.73		
6					合計		1,640.53		

6 その他	
【蔵書冊数】(除移動図書館車分)	
一般書151,878冊、児童書 52,529冊 合計204,407冊	
【利用状況】(除移動図書館車分)	
貸出冊数 330,973冊、年間貸出者数63,236人	

7 利用・稼働状況概要					
利用・稼働状況	平成30年度 合計	令和元年度 合計	令和2年度 合計	過去3年度 平均	
年間利用者数	190,079 人	178,200 人	130,673 人	166,317	人
4月	18,032	14,578	10,153	14,254	
5月	14,681	15,326	9,647	13,218	
6月	9,553	11,017	7,229	9,266	
7月	17,904	15,840	11,440	15,061	
8月	19,929	20,350	12,994	17,758	
9月	20,023	12,353	10,773	14,383	
10月	15,577	15,745	11,841	14,388	
11月	14,779	15,969	11,613	14,120	
12月	14,006	14,934	10,737	13,226	
1月	13,968	14,829	9,571	12,789	
2月	15,493	17,399	11,957	14,950	
3月	16,134	9,860	12,718	12,904	

施設番号 1003-2		サングリモ中込図書館		(基準日) 2021年3月31日現在								
<b>1 施設データ</b>												
所管部署	社会教育部 中央図書館 図書館係											
所在地	佐久市中込1丁目19番地2	地区	中込									
施設類型	大分類	社会教育系施設										
	中分類	図書館										
避難所・避難場所	—	配置形態	複合									
業務内容	図書館資料の収集・整理・管理・保存を行い、利用者が必要とする情報の提供(レファレンスサービス)											
設置目的	資料や情報の提供等を行う生涯学習の拠点となり、住民が心豊かに生活できるよう、教育と文化の発展に寄与するため											
設置条例	佐久市立図書館条例											
<b>2 建物データ</b>												
建築年(経過年数)	平成	20	年	(13年)	大規模改修年度	—	構造形式	鉄骨造	耐震診断	不要		
延床面積	244.37		m <sup>2</sup>	棟数	1	棟	階数(最大)	地上 7階	地下	—	耐震補強	不要
<b>3 土地データ</b>												
土地面積	1,817.96		m <sup>2</sup>	土地の保有区分	市所有	用途地域	商業地域					
<b>施設運営状況</b>												
<b>1 管理運営状況</b>												
運営形態	直営	指定管理期間	—									
備考												
<b>2 サービス提供状況</b>												
開館時間及び運営体制	平日(火曜～金曜)	10時～18時				土・日・祝日	10時～18時					
	備考	会計年度任用職員1人				会計年度任用職員1人						
休館日	定期休館日	月曜日、毎月最終火曜日				年末年始等	12月29日～1月3日、特別整理期間					
料金体系												
<b>3 コスト状況、利用状況</b>						平成30年度	令和元年度	令和2年度	過去3年度平均			
歳出(①) 単位:千円						8,029	7,879	8,097	8,002			
管理にかかるコスト						0	0	0	0			
修繕費						0	0	0	0			
使用料・賃借料						0	0	0	0			
建物管理委託費						0	0	0	0			
その他						0	0	0	0			
建物整備・大規模改修にかかるコスト						2,765	2,765	2,765	2,765			
再調達価格						2,765	2,765	2,765	2,765			
工事請負費						0	0	0	0			
事業運営にかかるコスト						5,264	5,114	5,332	5,237			
燃料費・光熱水費						538	522	532	531			
人件費						3,307	3,300	3,384	3,330			
事業運営委託料						0	0	0	0			
その他						1,419	1,292	1,416	1,376			
歳入(②) 単位:千円						10	8	13	10			
特定財源						0	0	0	0			
施設使用料、手数料収入等						10	8	13	10			
収支(②-①) 単位:千円						△ 8,019	△ 7,871	△ 8,084	△ 7,992			
延床面積1㎡あたりの経費(①/延床面積)						32,857円	32,243円	33,135円	32,745円			
年間利用者数(③)						18,586人	17,129人	11,711人	15,809人			
利用者一人あたりの経費(①/③)						432円	460円	691円	528円			
備考												



4 施設構成一覧											
NO	棟名または施設名	建築年度	構造	延床面積 (㎡)	階数	NO	棟名または施設名	建築年度	構造	延床面積 (㎡)	階数
1	サングリモ図書館	平成 19	鉄骨造	244.37		6	サングリモ中込交流センター	平成 19	鉄骨造	187.92	
2	佐久市シルバーサロン	平成 19	鉄骨造	367.72		7	サングリモ中込団地	平成 19	鉄骨造	2,278.63	
3	口腔歯科保健センター	平成 19	鉄骨造	492.65		8	駐輪場	平成 19	鉄骨造	27.15	
4	中込共同作業センター	平成 19	鉄骨造	409.57		9	共有部分	平成 19	鉄骨造	228.78	
5	つどいの広場交流センター	平成 19	鉄骨造	248.24		10					
備考						合計					4,485.03

5 スペース構成									
NO	部屋名	面積(㎡)	利用料金 (円/h)	備考	NO	部屋名	面積(㎡)	利用料金 (円/h)	備考
1	開架書庫	244.37			7				
2					8				
3					9				
4					10				
5					その他共有部				
6					合計		244.37		

6 その他											
【蔵書冊数】 一般書18,634冊、児童書9,455冊 合計28,089冊											
【利用状況】 貸出冊数 41,426冊、年間貸出者数 9,080人											

7 利用・稼働状況概要											
利用・稼働状況		平成30年度 合計		令和元年度 合計		令和2年度 合計		過去3年度 平均			
年間利用者数		18,586 人		17,129 人		11,711 人		15,809 人			
4月		1,355		1,423		834		1,204			
5月		1,506		1,310		1,109		1,308			
6月		1,250		1,034		567		950			
7月		1,846		1,529		979		1,451			
8月		2,039		1,784		1,077		1,633			
9月		1,729		1,116		1,017		1,287			
10月		1,544		1,367		1,082		1,331			
11月		1,530		1,706		1,001		1,412			
12月		1,383		1,548		1,020		1,317			
1月		1,364		1,546		952		1,287			
2月		1,422		1,703		1,029		1,385			
3月		1,618		1,063		1,044		1,242			

施設番号 402-2		佐久市立臼田図書館				(基準日) 2021年3月31日現在						
<b>1 施設データ</b>												
所管部署	社会教育部 中央図書館 図書館係											
所在地	佐久市下小田切124番地1			地区	臼田							
施設類型	大分類	社会教育系施設										
	中分類	図書館										
避難所・避難場所	—	配置形態	複合									
業務内容	図書館資料の収集・整理・管理・保存を行い、利用者が必要とする情報の提供(レファレンスサービス)											
設置目的	資料や情報の提供等を行う生涯学習の拠点となり、住民が心豊かに生活できるよう、教育と文化の発展に寄与するため											
設置条例	佐久市立図書館条例											
<b>2 建物データ</b>												
建築年(経過年数)	平成	3	年	(30年)	大規模改修年度	—		構造形式	SRC造	耐震診断	不要	
延床面積	620.00 m <sup>2</sup>			棟数	1	棟	階数(最大)	地上 2階	地下	—	耐震補強	不要
<b>3 土地データ</b>												
土地面積	13,476.42 m <sup>2</sup>			土地の保有区分	市所有		用途地域	—				
<b>施設運営状況</b>												
<b>1 管理運営状況</b>												
運営形態	直営		指定管理期間			—						
備考												
<b>2 サービス提供状況</b>												
開館時間及び運営体制	平日(火曜～金曜)	9時30分～18時				土・日・祝日	9時30分～18時					
	備考	正職2人、会計年度任用職員1人				正職1人、会計年度任用職員1人						
休館日	定期休館日	月曜日、毎月最終火曜日				年末年始等	12月29日～1月3日、特別整理期間					
料金体系												
<b>3 コスト状況、利用状況</b>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	過去3年度平均				
歳出(①) 単位:千円					25,384	24,865	25,034	25,094				
管理にかかるコスト					106	38	43	62				
修繕費					106	38	43	62				
使用料・賃借料					0	0	0	0				
建物管理委託費					0	0	0	0				
その他					0	0	0	0				
建物整備・大規模改修にかかるコスト					5,332	5,332	5,332	5,332				
再調達価格					5,332	5,332	5,332	5,332				
工事請負費					0	0	0	0				
事業運営にかかるコスト					19,946	19,495	19,659	19,700				
燃料費・光熱水費					3	20	71	31				
人件費					16,538	15,948	15,087	15,858				
事業運営委託料					0	0	0	0				
その他					3,405	3,527	4,501	3,811				
歳入(②) 単位:千円					49	24	3	25				
特定財源					0	0	0	0				
施設使用料,手数料収入等					49	24	3	25				
収支(②-①) 単位:千円					△ 25,335	△ 24,841	△ 25,031	△ 25,069				
延床面積1㎡あたりの経費(①/延床面積)					40,942円	40,105円	40,377円	40,475円				
年間利用者数(③)					40,752人	20,722人	18,639人	26,704人				
利用者一人あたりの経費(①/③)					623円	1,200円	1,343円	1,055円				
備考												

4 施設構成一覧											
NO	棟名または施設名	建築年度	構造	延床面積 (㎡)	階数	NO	棟名または施設名	建築年度	構造	延床面積 (㎡)	階数
1	佐久市立白田図書館	平成 3	SRC造	620.00	1	6					
2	コスモホール	平成 3	SRC造	5,183.24	2	7					
3						8					
4						9					
5						10					
備考						合 計				5,803.24	
5 スペース構成											
NO	部屋名	面積(㎡)	利用料金 (円/h)	備考	NO	部屋名	面積(㎡)	利用料金 (円/h)	備考		
1	閲覧スペース	453.60			7						
2	閉架書庫	77.40			8						
3					9						
4					10						
5					その他共有部		89.00				
6					合 計		620.00				
6 その他											
<p>【蔵書冊数】 一般書 44,396冊、児童書 28,236冊 合計 72,632冊</p> <p>【利用状況(年間)】 貸出冊数 70,695冊、貸出者数 12,867人</p>											
7 利用・稼働状況概要											
利用・稼働状況		平成30年度 合計	令和元年度 合計	令和2年度 合計	過去3年度 平均						
年間利用者数		40,752 人	20,722 人	18,639 人	26,704 人						
4月		3,586	3,594	1,503	2,894						
5月		3,484	3,200	1,715	2,800						
6月		2,357	2,745	1,438	2,180						
7月		3,104	3,238	1,626	2,656						
8月		4,036	4,054	1,684	3,258						
9月		3,400	2,793	1,605	2,599						
10月		3,571	1,098	1,621	2,097						
11月		3,358	0	1,595	1,651						
12月		3,216	0	967	1,394						
1月		3,230	0	1,488	1,573						
2月		3,557	0	1,709	1,755						
3月		3,853	0	1,688	1,847						

施設番号 403-2		佐久市立浅科図書館				(基準日) 2021年3月31日現在				
<b>1 施設データ</b>										
所管部署	社会教育部 中央図書館 図書館係									
所在地	佐久市八幡229番地			地区	浅科					
施設類型	大分類	社会教育系施設								
	中分類	図書館								
避難所・避難場所	—	配置形態	併設							
業務内容	図書館資料の収集・整理・管理・保存を行い、利用者が必要とする情報の提供(レファレンスサービス)									
設置目的	資料や情報の提供等を行う生涯学習の拠点となり、住民が心豊かに生活できるよう、教育と文化の発展に寄与するため									
設置条例	佐久市立図書館条例									
<b>2 建物データ</b>										
建築年(経過年数)	平成	4	年	(29年)	大規模改修年度	—	構造形式	木造	耐震診断	不要
延床面積	966.70 m <sup>2</sup>			棟数	1	棟	階数(最大)	地上 1階	地下	—
<b>3 土地データ</b>										
土地面積	11,260.89 m <sup>2</sup>			土地の保有区分	市所有		用途地域	—		
<b>施設運営状況</b>										
<b>1 管理運営状況</b>										
運営形態	直営		指定管理期間			—				
備考										
<b>2 サービス提供状況</b>										
開館時間及び運営体制	平日(火曜～金曜)	9時30分～18時				土・日・祝日	9時30分～18時			
		正職2人、会計年度任用職員1人					正職1人、会計年度任用職員1人			
備考										
休館日	定期休館日	月曜日、毎月最終火曜日				年末年始等	12月29日～1月3日、特別整理期間			
料金体系										
<b>3 コスト状況、利用状況</b>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	過去3年度平均		
歳出(①) 単位:千円					38,641	37,301	37,217	37,720		
管理にかかるコスト					918	23	155	365		
修繕費					918	23	155	365		
使用料・賃借料					0	0	0	0		
建物管理委託費					0	0	0	0		
その他					0	0	0	0		
建物整備・大規模改修にかかるコスト					17,320	17,320	17,320	17,320		
再調達価格					17,320	17,320	17,320	17,320		
工事請負費					0	0	0	0		
事業運営にかかるコスト					20,403	19,958	19,742	20,034		
燃料費・光熱水費					373	339	129	280		
人件費					16,538	15,948	15,108	15,865		
事業運営委託料					0	0	0	0		
その他					3,492	3,671	4,505	3,889		
歳入(②) 単位:千円					12	15	14	14		
特定財源					0	0	0	0		
施設使用料、手数料収入等					12	15	14	14		
収支(②-①) 単位:千円					△ 38,629	△ 37,286	△ 37,203	△ 37,706		
延床面積1㎡あたりの経費(①/延床面積)					39,972円	38,586円	38,499円	39,019円		
年間利用者数(③)					27,629人	30,699人	25,142人	27,823人		
利用者一人あたりの経費(①/③)					1,399円	1,215円	1,480円	1,365円		
備考										



4 施設構成一覧											
NO	棟名または施設名	建築年度	構造	延床面積 (㎡)	階数	NO	棟名または施設名	建築年度	構造	延床面積 (㎡)	階数
1	佐久市立浅科図書館	平成 4	木造	966.70	1	6					
2	交流文化館浅科	平成 14	RC造	2,145.00	2	7					
3						8					
4						9					
5						10					
備考						合 計				3,111.70	
5 スペース構成											
NO	部屋名	面積(㎡)	利用料金 (円/h)	備考	NO	部屋名	面積(㎡)	利用料金 (円/h)	備考		
1	開架書庫	540.00			7						
2	閉架書庫	25.00			8						
3	閲覧スペース	150.00			9						
4	学習室	65.00			10						
5					その他共有部		186.70				
6					合 計		966.70				
6 その他											
<p>【蔵書冊数】 一般書 51,340冊、児童書 30,007冊 合計81,347冊</p> <p>【利用状況(年間)】 貸出冊数 71,694冊、貸出者数 12,945人</p>											
7 利用・稼働状況概要											
利用・稼働状況		平成30年度 合計		令和元年度 合計		令和2年度 合計		過去3年度 平均			
年間利用者数		27,629 人		30,699 人		25,142 人		27,823 人			
4月		1,978		2,357		2,356		2,230			
5月		2,165		2,387		2,243		2,265			
6月		1,705		1,856		1,475		1,679			
7月		2,577		2,462		2,046		2,362			
8月		3,039		3,248		2,000		2,762			
9月		2,335		2,155		2,157		2,216			
10月		2,275		2,375		2,137		2,262			
11月		2,357		2,937		2,160		2,485			
12月		2,129		2,614		2,155		2,299			
1月		2,180		2,960		2,040		2,393			
2月		2,426		3,105		2,080		2,537			
3月		2,463		2,243		2,293		2,333			

施設番号 104-2		佐久市立望月図書館				(基準日) 2021年3月31日現在					
<b>1 施設データ</b>											
所管部署	社会教育部 中央図書館 図書館係										
所在地	佐久市望月263番地			地区	望月						
施設類型	大分類	社会教育系施設									
	中分類	図書館									
避難所・避難場所	—	配置形態	複合								
業務内容	図書館資料の収集・整理・管理・保存を行い、利用者が必要とする情報の提供(レファレンスサービス)										
設置目的	資料や情報の提供等を行う生涯学習の拠点となり、住民が心豊かに生活できるよう、教育と文化の発展に寄与するため										
設置条例	佐久市立図書館条例										
<b>2 建物データ</b>											
建築年(経過年数)	平成	6	年	(27年)	大規模改修年度	—		構造形式	RC造	耐震診断	不要
延床面積	1,243.90 m <sup>2</sup>			棟数	1	棟	階数(最大)	地上 4階	地下 —	耐震補強	不要
<b>3 土地データ</b>											
土地面積	8,298.26 m <sup>2</sup>			土地の保有区分	市所有		用途地域	—			
<b>施設運営状況</b>											
<b>1 管理運営状況</b>											
運営形態	直営		指定管理期間			—					
備考											
<b>2 サービス提供状況</b>											
開館時間及び運営体制	平日(火曜～金曜)	9時30分～18時				土・日・祝日	9時30分～18時				
		正職2人、会計年度任用職員1人					正職1人、会計年度任用職員1人				
備考											
休館日	定期休館日	月曜日、毎月最終火曜日				年末年始等	12月29日～1月3日、特別整理期間				
料金体系											
<b>3 コスト状況、利用状況</b>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	過去3年度平均			
歳出(①) 単位:千円					29,344	29,037	28,201	28,860			
管理にかかるコスト					0	0	39	13			
修繕費					0	0	39	13			
使用料・賃借料					0	0	0	0			
建物管理委託費					0	0	0	0			
その他					0	0	0	0			
建物整備・大規模改修にかかるコスト					10,698	10,698	10,698	10,698			
再調達価格					10,698	10,698	10,698	10,698			
工事請負費					0	0	0	0			
事業運営にかかるコスト					18,646	18,339	17,464	18,150			
燃料費・光熱水費					0	0	0	0			
人件費					15,955	15,366	13,566	14,962			
事業運営委託料					0	0	0	0			
その他					2,691	2,973	3,898	3,187			
歳入(②) 単位:千円					17	18	18	18			
特定財源					0	0	0	0			
施設使用料、手数料収入等					17	18	18	18			
収支(②-①) 単位:千円					△ 29,327	△ 29,019	△ 28,183	△ 28,843			
延床面積1㎡あたりの経費(①/延床面積)					23,590円	23,343円	22,671円	23,201円			
年間利用者数(③)					26,632人	22,636人	17,219人	22,162人			
利用者一人あたりの経費(①/③)					1,102円	1,283円	1,638円	1,341円			
備考											





4 施設構成一覧											
NO	棟名または施設名	建築年度	構造	延床面積 (㎡)	階数	NO	棟名または施設名	建築年度	構造	延床面積 (㎡)	階数
1	望月図書館	平成 6	RC造	1,243.90	2	6					
2	支所庁舎	平成 6	RC造	4,445.90	4	7					
3	駐車場	平成 6	鉄骨造	882.05	1	8					
4	倉庫	昭和 40	RC造	196.71	2	9					
5						10					
備考							合計				6,768.56
5 スペース構成											
NO	部屋名	面積(㎡)	利用料金 (円/h)	備考	NO	部屋名	面積(㎡)	利用料金 (円/h)	備考		
1	開架書庫	394.00			7	多目的室	40.00				
2	閉架書庫	76.00			8	学習スペース	135.00				
3	読み聞かせ室	30.58			9						
4	望月歴史資料室	40.00			10						
5	交流スペース	110.00			その他共有部		410.07				
6	朗読室	8.25			合計		1,243.90				
6 その他											
【蔵書冊数】 一般書 37,807冊、児童書 24,939冊 合計 62,746冊											
【利用状況(年間)】 貸出冊数 48,298冊、貸出者数 9,941人											
7 利用・稼働状況概要											
利用・稼働状況		平成30年度 合計		令和元年度 合計		令和2年度 合計		過去3年度 平均			
年間利用者数		26,632 人		22,636 人		17,219 人		22,162 人			
4月		2,026		1,921		1,462		1,803			
5月		2,002		1,916		1,539		1,819			
6月		1,625		1,367		980		1,324			
7月		2,378		2,091		1,522		1,997			
8月		3,134		2,682		1,546		2,454			
9月		2,268		1,533		1,427		1,743			
10月		1,953		1,720		1,484		1,719			
11月		2,247		1,955		1,432		1,878			
12月		2,294		1,961		1,425		1,893			
1月		2,092		1,819		1,320		1,744			
2月		2,284		2,282		1,530		2,032			
3月		2,329		1,389		1,552		1,757			

#### 4 計画期間

本計画の計画期間は、「第二次佐久市総合計画」や「総合管理計画」の策定内容を反映させるため、計画期間も両計画の改訂時期と整合を図り、令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とします。

ただし、公共施設の適正化を実現していくためには、将来にわたる見通し、課題を客観的に把握・分析することが必要なことから、「総合管理計画」の最終年度である令和38年度までを視野に入れて検討を行います。

なお、計画策定後の社会経済情勢の変化、法令等の改正、ニーズや利用状況の推移、施設整備の進捗等に応じ、計画内容は適宜見直しを行うこととします。

## 第2章 現状評価

### 1 基本情報の把握

本計画の対象となる施設の基本情報については、17ページに掲げる「基本情報一覧」のとおりです。

中央図書館は昭和54年、臼田図書館は平成3年、浅科図書館は平成4年にそれぞれ合併前の旧町村により整備されています。また、サングリモ中込図書館は合併後の平成20年に整備された施設で、複合型公共施設サングリモ中込における、施設分類が異なる、口腔歯科保健センター、中込共同作業センター、中込交流センター、シルバーサロン、つどいの広場交流センター、サングリモ中込団地との複合施設です。

望月図書館は合併以前より使用していた施設(平成7年建設)の老朽化に伴い平成25年に望月支所2階へ移転しました。

中央図書館は築40年以上の鉄筋コンクリート造、また、浅科図書館は、築29年の木造の建物となっており、施設の老朽化が進んでいるため維持管理に伴う修繕が課題となっています。

臼田図書館、望月図書館、サングリモ中込図書館については、それぞれ施設分類が異なるコスモホール、望月支所庁舎、複合型公共施設サングリモ中込との複合施設となっていることから、施設の基本方針をはじめ具体的な対策内容、実施時期等の検討にあたっては、市民文化系施設（文化施設）、行政系施設、保健・福祉施設（保健施設）に係る個別施設計画との整合を図る必要があります。

表 1 基本情報一覧

No.	種別	施設名	場所	構造	面積 (㎡)	設置年	規模等	複合施設の該当の有無	有の場合の施設名	施設所管課	備考
1	図書館	中央図書館	猿久保44番地1	RC造	1,669.88	1979年	中央図書館1,640.5㎡ 自動車庫29.4㎡	×	—	中央図書館	
2	図書館	サングリモ中込図書館	中込1丁目19番地2	鉄骨造	244.37	2008年	図書館244.3㎡	○	口腔歯科保健センター 中込共同作業センター 中込交流センター シルバーサロン つどいの広場交流センター サングリモ中込団地	中央図書館	健康づくり推進課 福祉課 商工振興課 高齢者福祉課 子育て支援課 建築住宅課
3	図書館	臼田図書館	下小田切124番地1	SRC造	620.00	1991年	図書館620㎡	○	コスモホール	中央図書館	文化振興課
4	図書館	浅科図書館	八幡229番地	木造	966.70	1992年	図書館966.7㎡	×	—	中央図書館	
5	図書館	望月図書館	望月263番地	RC造	1,243.90	1994年	図書館1243.9㎡	○	望月支所	中央図書館	望月支所

## 2 現状評価

### (1) 施設の現状情報の収集・整理

施設の現状を明らかにするために、「健全性・機能性」「経済性」「耐震性」の分析に資する基礎情報を収集・整理しました。

#### ア 健全性・機能性に関する基礎情報

「健全性・機能性」の分析のための基礎情報を収集し、以下に掲げるそれぞれの項目について劣化状況、対策の実施状況等の整理を行いました。

収集した基礎情報については、22 ページに掲げる「健全性・機能性評価結果一覧」のとおりです。

#### 健全性・機能性に関する基礎情報の収集項目

項 目	細 目
健全性（経過年数）	竣工からの経過年数
健全性（躯体の健全性）	躯体の健全性（剥離・ひび割れ）
健全性（外被性能）	屋根の劣化状況 外壁材の劣化状況（剥離・落下の危険性の有無）
健全性（内部仕上げ）	内装の劣化状況（天井・壁・床・建具等） 特定天井対策への状況
機能性（室内設備）	電気設備の劣化状況 機械設備の劣化状況
機能性（その他）	バリアフリーの対策状況 省エネ対策の状況（太陽光、LED等） 災害対策設備の状況（避難設備・防災設備・シャワー等） AED等の設置状況

## イ 経済性に関する基礎情報

「経済性」の分析のための基礎情報を収集し、以下に掲げるそれぞれの項目について利用動向、収入・コストの状況等の整理を行いました。

収集した基礎情報については、23 ページに掲げる「経済性評価結果一覧」のとおりです。

### 経済性に関する基礎情報の収集項目

項 目	細 目
経済性（改修更新時期）	今後の大規模改修・更新（建替え）予定
経済性（収入）	収入の状況
経済性（利用者数）	利用者数の状況
経済性（稼働率）	稼働率
経済性（維持管理費）	維持管理費に占める使用料等の割合 1㎡あたり維持管理コスト 利用者1人あたり税負担額

## ウ 耐震性に関する基礎情報

「耐震性」の分析のための基礎情報を収集し、以下に掲げるそれぞれの項目について整理を行いました。

収集した基礎情報については、24 ページに掲げる「耐震性評価結果一覧」のとおりです。

### 耐震性に関する基礎情報の収集項目

項 目	細 目
建築年	建築年
耐震基準	建築年による判定（1981年以降は新基準） 旧基準の場合、耐震診断の実施の有無 旧基準の場合、耐震改修の実施の有無

## (2) 施設の方向性に関する検討【1次評価】

収集した情報をもとに、施設毎の「健全性・機能性」及び「経済性」の各項目について、一定の評価基準に基づき、「良」「劣」のいずれかで評価しました。

評価基準及び評価結果については、22 ページから 24 ページまでに掲げる各種評価結果一覧のとおりです。

この評価結果を踏まえ、21 ページのフローチャート【1次評価】に基づき、施設の方向性を「維持」「改善」「見直し」のいずれかで判定しました。

### ア 1次評価

中央図書館は、健全性・機能性の評価が「劣」、経済性の評価が「劣」であったため、施設の方向性は「見直し」とします。当該施設については、建築後42年が経過しており、施設の老朽化が著しく、躯体や設備等において全体的な劣化が見られます。2次評価を含めた総合的な判断の下、施設のあり方を慎重に検討することとします。

臼田図書館は、健全性・機能性の評価が「劣」、経済性の評価が「良」であったため、施設の方向性は「改善」とします。健全性・機能性の面についてはコスモホールと複合施設となっているため所管課と整合性を図るとともに、経済性についても良好な施設であるため、将来に渡って施設を適切に保全し、維持管理の効率化を図る必要があります。

浅科図書館は、健全性・機能性の評価が「良」、経済性の評価が「劣」であったため、施設の方向性は「改善」とします。当該施設は木造で築29年と経過し部分的には老朽化が進んできていることから、計画的な修繕等を行っていく必要があります。また入館者数も5館のうち3番目と比較的高いことから、将来に渡って施設を適切に保全するとともに、維持管理の効率化を図る必要があります。

サングリモ中込図書館及び望月図書館は、健全性・機能性の評価が「良」、経済性の評価が「良」であったため、施設の方向性は「維持」とします。健全性・機能性の面については望月支所及び口腔歯科保健センター他と複合施設となっているため所管課と整合性を図るとともに、経済性についても良好な施設であるため、将来に渡って施設を適切に保全し、維持管理の効率化を図る必要があります。

フローチャート【1次評価】

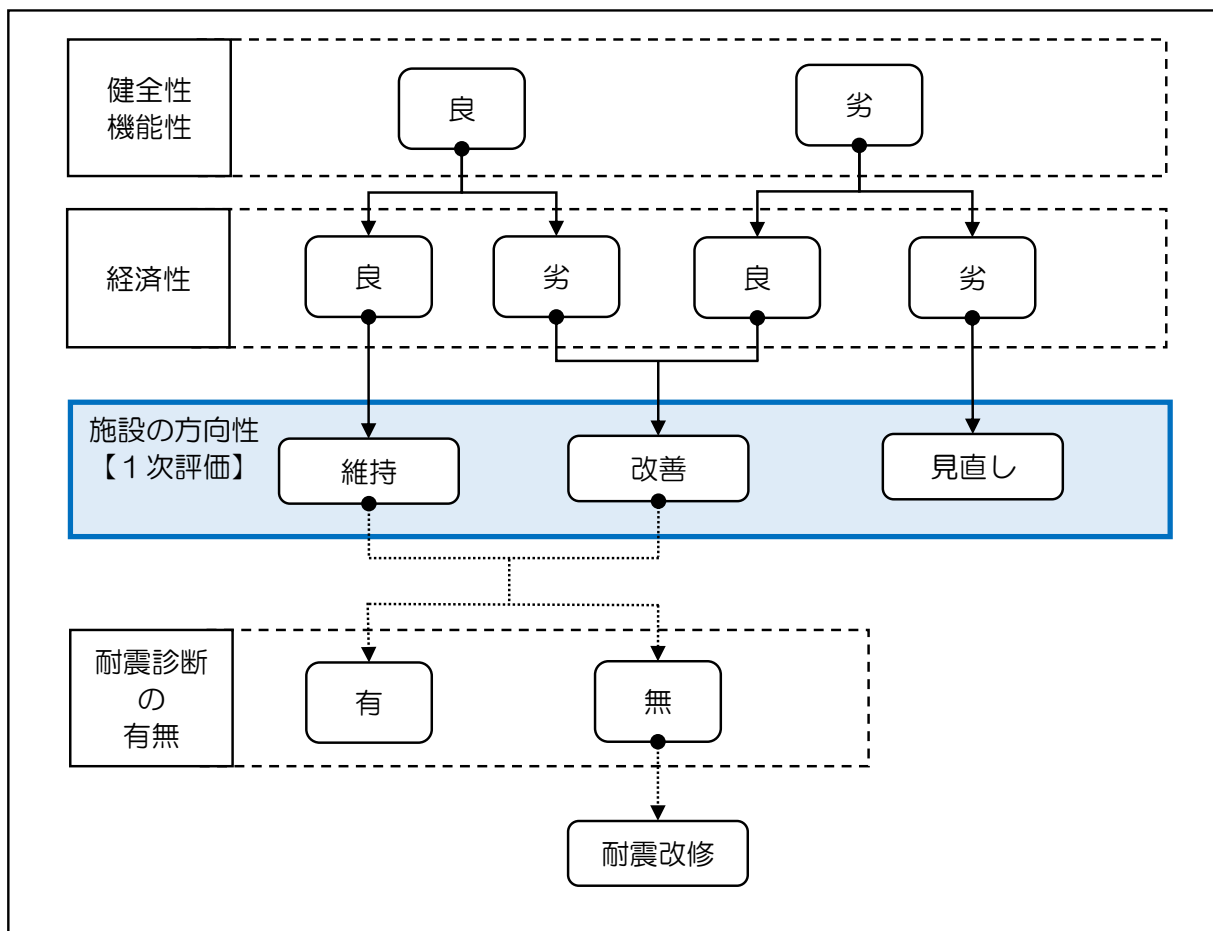


表2 健全性・機能性評価結果一覧

項目	細目	対象施設名												評価基準				備考			
		中央図書館		サングリモ中込図書館		臼田図書館		浅科図書館		望月図書館						A 5点 良好	B 3点		C 1点	D 0点 劣化	
		評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数		評価	点数	
健全性	経過年数	・竣工からの経過年数	C	1	A	5	B	3	B	3	B	3					築20年未満	築20年以上 40年未満	築40年以上 60年未満	築60年以上	
	躯体の健全性	・躯体の健全性 (剥離・ひび割れ)	B	3	A	5	B	3	A	5	B	3					全体的に良好	部分的に劣化	広範囲に劣化	全体的に劣化	
	外被性能	・屋根の劣化状況	C	1	A	5	D	0	A	5	A	5					全体的に良好	部分的に劣化	広範囲に劣化	全体的に劣化	
		・外壁材の劣化状況 (剥離・落下の危険性の有無)	B	3	B	3	B	3	A	5	B	3					全体的に良好	部分的に劣化	広範囲に劣化	全体的に劣化	
	内部仕上げ	・内装の劣化状況 (天井・壁・床・建具等)	B	3	A	5	C	1	A	5	A	5					全体的に良好	部分的に劣化	広範囲に劣化	全体的に劣化	
機能性	室内設備 (電気・機械)	・電気設備の劣化状況	B	3	A	5	B	3	B	3	B	3					全体的に良好	部分的に劣化	広範囲に劣化	全体的に劣化	
		・機械設備の劣化状況	B	3	A	5	B	3	B	3	B	3					全体的に良好	部分的に劣化	広範囲に劣化	全体的に劣化	
	その他	・バリアフリーの対策状況	B	3	A	5	A	5	A	5	A	5					全体的に対策済み	部分的に対策済み	広範囲で未対策	全体的に未対策	EV、ス ロープ、
		・省エネ対策の状況(太陽光、LED等)	D	0	D	0	D	0	D	0	C	1					全体的に対策済み	部分的に対策済み	広範囲で未対策	全体的に未対策	
		・災害対策設備の状況(避難設備・防災設備・シャワー等)	C	1	C	1	C	1	C	1	B	3					全体的に対策済み	部分的に対策済み	広範囲で未対策	全体的に未対策	
	・AED等の設置状況	A	5	A	5	A	5	A	5	A	5					設置されている	隣接棟に設置		設置されて いない		
合計	評価点		26		44		27		40		39										
	満点		55		55		55		55		55										
	最終評価(良・劣)		劣		良		劣		良		良										



表3 経済性評価結果一覧

	細目	対象施設名										評価基準				備考		
		中央図書館		サングリモ中込図書館		臼田図書館		浅科図書館		望月図書館		A	B	C	D			
		評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	5点	3点	1点	0点			
		評価基準										評価基準				備考		
経済性	改修・更新時期	・今後の大規模改修・更新(建替え)予定		C	1	A	5	B	3	B	3	A	5	10年以上、大規模改修・更新(建替え)が必要ない。	10年以内に、大規模改修が必要。(築30年に達する)	築30年以上で、これまでに大規模改修が未実施のもの。	築50年以上のもの。(=更新(建替え)が必要なもの。)	
	収入	・収入の状況		C	1	C	1	A	5	C	1	B	3	年々増加傾向にあり、今後も増加の見込みである。	年によりばらつきはあるが、増加傾向又は横ばいで推移している。(増加率20%未満)	年によりばらつきはあるが、減少傾向で推移している。(減少率20%未満)	年々減少傾向にあり、今後も減少の見込みである。または年間収入が500千円未満。	
	利用者数	・利用者数の状況		B	3	B	3	B	3	B	3	B	3	年々増加傾向にあり、今後も増加の見込みである。	年によりばらつきはあるが、増加傾向又は横ばいで推移している。(増加率20%未満)	年によりばらつきはあるが、減少傾向で推移している。(減少率20%未満)	年々減少傾向にあり、今後も減少の見込みである。または年間利用者が500人未満。	
	稼働率	・稼働率(=利用件数/利用可能コマ数×100)【%】		B	3	A	5	C	1	C	1	C	1	150%以上	120%以上150%未満	80%以上120%未満	0%以上80%未満	
				148.6%		151.7%		84.9%		88.1%		83.3%						
		・1㎡あたり利用者数(=年間利用者数/延床面積)【人】		A	5	B	3	B	3	D	0	D	0	平均値の+30%以上	平均値の+30%以上+10%未満	平均値の±10%	平均値の-10%超	
			99.6人		64.7人		64.6人		28.8人		17.8人							
			180.8%		117.4%		117.2%		52.3%		32.3%							
	維持管理費	・1㎡あたり維持管理コスト(=維持管理費/延床面積)【%】		D	0	B	3	C	1	C	1	A	5	平均値の-30%未満	平均値の-30%以上-10%未満	平均値の±10%	平均値の+10%超	
				58,996円		32,745円		40,474円		39,019円		23,201円						
		151.7%		84.2%		104.1%		100.3%		59.7%								
・利用者1人あたり税負担額(=[維持管理費-使用料等]/利用者数)【円】		B	3	A	5	C	1	D	0	D	0	平均値の-40%未満	平均値の-40%以上-20%未満	平均値の±20%	平均値の+20%超			
		592円		506円		939円		1,355円		1,301円								
		63.1%		53.9%		100.0%		144.4%		138.6%								
合計	評価点	16		25		17		9		17								
	満点	35		35		35		35		35								
	最終評価(良・劣)	劣		良		良		劣		良								

表 4 耐震性評価結果一覧

項目	対象施設名				
	中央図書館	サングリモ中込図書館	臼田図書館	浅科図書館	望月図書館
①建築年	1979年	2008年	1991年	1992年	1994年
②耐震基準(設置年度による判定) 【※1981年以降は新基準】	×	○	○	○	○
旧基準の場合、耐震診断の実施の有無	無				
旧基準の場合、耐震改修の実施の有無	無				

## 第3章 政策優先度評価

### 1 各種計画における位置付け

#### (1) 総合管理計画

総合管理計画における「4 公共施設最適化推進方針 (4) 施設分類別の今後のあり方」から、対象施設に係る課題、今後の施設のあり方に関する記述を下記のとおり引用します。

##### 【課題】

- サービスの向上及び管理運営の効率化のため、窓口業務の民間活用について検討する必要があります。
- コスト状況を見ると、運営に多くの費用がかかっており、サービスの向上及び管理運営の効率化のため、民間活用を検討するなど効率的な運営を図っていく必要があります。

##### 【今後の施設のあり方】

- 中央図書館を除く市内の図書館（4 施設）は、既に複合施設として他施設に併設されている施設が多く、建物も比較的新しいことから、さらなるサービスの向上や運営の効率化を検討します。
- 民間活用について、継続的・安定的なサービス提供が可能であるかなどを考慮しながら、検討します。
- 中央図書館の更新時期に合わせ、サービス内容や図書館のあり方を見直し、運営の効率化とサービスの向上を図るとともに、他の施設との複合化など、配置の適正化についても検討します。

## (2) 佐久市立地適正化計画

佐久市立地適正化計画における「第3章 都市機能誘導区域 4 誘導施設の設定」から、誘導施設の設定方針、誘導施設の設定に関する記述を下記のとおり引用します。

### (5) 誘導施設の設定方針

以上の検討を踏まえ、本市の都市機能誘導区域内における誘導施設の設定方針については、拠点の位置づけや期待される役割を念頭に、生活圏人口の規模に応じて立地することが望ましい施設と、現在の都市機能の立地状況の双方を照らし合わせ、以下のとおりとします。

#### ①高次の機能を誘導すべき「広域交流拠点」

都市機能のうち都市の発展を牽引するとともに、まちの魅力を創出し、市民全体に便益を供するような高次都市機能については、広域交流拠点である佐久平駅周辺地区に誘導を図ります。

また、岩村田地区と一体となって「都市機能拠点ゾーン」を形成することを前提に、多様な機能を有する広域的な拠点として、樋橋地区の開発動向を視野に入れながら、広域的・中核的な拠点性を高める必要があります。

なお、佐久平駅周辺地区及び樋橋地区のまちづくりについては、「佐久市中心市街地活性化基本計画\*に伴う岩村田地区のまちづくりに向けた提言」（平成28年3月）の内容についても踏まえることとします。

#### ②一定の拠点性を有する都市機能を誘導すべき「中心拠点」

都市機能のうち、地域において一定の拠点性を有する都市機能（地域の二次・三次医療圏を担う医療機関、地域コミュニティや文化活動の拠点である公民館地区館、地域の保健・福祉・医療・介護の総合的なマネジメントを行う地域包括支援センター、行政の窓口となる支所、出張所など）については、地域資源と捉え、地域の質を高め、特徴ある発展を支える核として、中心拠点（岩村田地区、中込中央区地区、中込・野沢地区、臼田地区）への誘導を図るとともに、他の拠点との適正な機能分担のもと、集約と連携によるまちづくりを推進する必要があります。

これに加え、日常生活を支える身近な生活利便施設についても、中心拠点に誘導し、あわせて既存集落からも容易にアクセスできるような交通体系の構築を目指す必要があります。

広域交流拠点	中心拠点
<ul style="list-style-type: none"><li>・佐久市の中核として、本市の発展を牽引し、市民全体にサービスを提供する高次都市機能の充実を図る。</li><li>・広域交通結節点として、市域を超えた広域的なサービスを提供する都市機能の充実を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域において一定の拠点性を有する都市機能の維持、充実を図る。</li><li>・地域特性、都市機能の立地状況に応じて、他の拠点との適正な機能分担のもと集約と連携によるまちづくりを推進する。</li><li>・日常生活を支える身近な生活利便施設の誘導を図る。</li></ul>

## (6) 誘導施設の設定

本計画における誘導施設を以下のとおり設定します。

誘導施設は、新たに立地を誘導すべき施設だけではなく、既に立地していて、将来にわたって機能を維持し続けることが期待される施設については、設定の対象とします。

また、日常生活を支える生活利便施設である診療所・通所介護施設・小規模多機能型居宅介護施設・保育所・幼稚園・認定こども園などについては、日々の暮らしを送る上での利便性を考慮した場合、拠点のみならず市内に満遍なく立地していることが望ましく、送迎によることが一般的となっているものもあることから、誘導施設には位置づけません。

なお、誘導施設に位置づけられた施設に係る都市機能誘導区域外における開発行為、建築行為等については届出の対象となります。

### 【誘導施設の設定にあたっての視点】

#### ①新たに立地を誘導すべき施設

都市機能誘導区域内において、現在立地していない誘導施設については、施設が都市機能誘導区域内に立地するための施策を検討します。

#### ②今後も区域内に立地することが望ましく、機能を維持し続けることが期待される施設

都市機能誘導区域内において、現在立地している施設については、将来にわたって都市機能誘導区域内でその立地を確保し、機能を維持し続けるための施策を検討します。

### ■誘導施設の設定

施設の種類		広域交流拠点	中心拠点
医療	病院（二次医療、三次医療を担う）		○
福祉	地域包括支援センター		○
教育・文化	大学・専門学校	○	
	公民館地区館		○
	市民ホール・コンベンションセンター	○	
商業	広域集客型商業等複合施設（百貨店・ショッピングセンター等）	○	
	スーパー	○	○
金融	銀行・信金等	○	○

### (3) 佐久市教育振興基本計画

佐久市教育振興基本計画における「第Ⅳ章 基本計画 2 社会教育（1）生涯にわたる多様な学習機会の提供と学習環境の整備 イ 図書館サービスの充実」から、対象施設に係る現状と課題、今後の主な取組に関する記述を下記のとおり引用します。

#### 【現状と課題】

- 老朽化の著しかった望月図書館は、機能の整備充実を図るため、平成 25 年 3 月より佐久市役所望月支所 2 階に移転しました。中央図書館については、築 37 年を経過していることから、建物の安全性の確認や将来的な維持・整備方針の検討が必要となってきます。

#### 【今後の主な取組】

- 図書館施設については、安全な運営ができるように、老朽化等の調査や整備を行います。中央図書館施設の老朽化については、市民に親しまれ、利用しやすい市立図書館として整備する必要があることから、佐久市公共施設マネジメント基本方針を踏まえて、老朽化に係る調査や長寿命化、新築、複合施設化など、様々な手法による整備検討等を行います。

### (4) 「佐久市文化振興計画」

佐久市文化振興計画における、「第 2 章 佐久市の文化の現状と課題 3 既存文化施設の現状と課題」及び「第 5 章 文化振興計画の推進について 施策 6 親しまれる文化施設の運営を行います」から、施設の利用状況、今後の取り組みに関する記述を下記のとおり引用します。

#### ◆施設の利用状況

施設の有効活用には市民のニーズに応じた講座や教室・企画展など内容を工夫するとともに、他の施設と連携した取り組みを行うなど、施設の新しい魅力の発信が必要と考えられます。

#### ■今後の取り組み

##### ○文化施設の連携した取り組み

個々の施設が連携して共通したテーマによる企画展を開催し、施設の新しい魅力を発信します。

## 2 政策優先度評価

### (1) 施設の政策優先度に関する情報の収集・整理

施設の位置付けを明らかにするために、「防災性」「施設配置・拠点形成」「市民意向」「その他留意すべき事項」の分析に資する基礎情報を収集・整理しました。

#### ア 防災性に関する基礎情報

「防災性」の分析のための基礎情報を収集し、以下に掲げるそれぞれの項目について整理を行いました。

収集した基礎情報については、32 ページに掲げる「政策優先度評価結果一覧」のとおりです。

#### 防災性に関する基礎情報の収集項目

項 目	細 目
防災性（地域防災計画上の位置付け）	防災拠点、避難所等の指定の有無
災害リスク（土砂災害）	警戒区域等の指定の有無
災害リスク（洪水災害）	浸水想定区域の指定の有無

#### イ 施設配置・拠点形成に関する基礎情報

「施設配置・拠点形成」の分析のための基礎情報を収集し、以下に掲げるそれぞれの項目について整理を行いました。

収集した基礎情報については、32 ページに掲げる「政策優先度評価結果一覧」のとおりです。

#### 施設配置・拠点形成に関する基礎情報の収集項目

項 目	細 目
立地適正化計画上の位置付け（誘導区域）	誘導区域内の立地の有無
拠点形成	各種計画（地域防災計画を除く）等における拠点施設等の位置付けの有無
代替性	近隣施設との代替性の有無

#### ウ 市民意向に関する基礎情報

「市民意向」の分析のための基礎情報を収集し、以下に掲げるそれぞれの項目について整理を行いました。

収集した基礎情報については、32 ページに掲げる「政策優先度評価結果一覧」のとおりです。

なお、市民意向の収集にあたっては、各館利用者を対象としたアンケート調査（令和3年11月6日～30日）を実施しています。

#### 市民意向に関する基礎情報の収集項目

項 目	細 目
利用範囲	利用者の属性を踏まえた利用範囲（居住地域）の分析
満足度	利用者への意向調査等を踏まえた施設に対する満足度の分析
ニーズ（必要性）	利用者への意向調査等を踏まえた施設に対するニーズ（必要性）の分析

#### （2）施設の基本方針に関する検討【2次評価】

収集した情報をもとに、施設毎の「政策優先度」の各項目について、一定の評価基準に基づき、「高」「低」のいずれかで評価しました。

評価基準及び評価結果については、31 ページに掲げる政策優先度評価結果一覧のとおりです。

この評価結果を踏まえ、31 ページのフローチャート【2次評価】に基づき、施設の基本方針を「機能保持」「総量コントロール」「建替再整備」のいずれかで判定しました。

##### ア 2次評価

中央図書館は、1次評価が「見直し」であり、政策優先度評価が「高」であったため、施設の基本方針は「建替再整備」とします。当該施設については、読書活動の拠点施設であり市内全5館の本館でもあることから、老朽化しているものの重要度の高い施設です。

臼田図書館は、1次評価が「改善」であり、政策優先度評価が「高」、また、サングリモ中込図書館及び望月図書館は、1次評価が「維持」であったため政策優先度評価の結果にかかわらず施設の基本方針は「機能保持」とします。各施設について、利用者が旧市町村地域に集中しており地域住民の満足度が高いことから、将来に渡って生涯学習の大切な場としての機能を維持し続けていくことが求められています。



浅科図書館は1次評価が「改善」であり、政策優先度評価が「高」のため基本方針の「機能保持」としますが、施設が木造であることから、長期の期間を見据える中では、躯体の劣化状況を踏まえ用途廃止の検討をする必要があるため「総量コントロール」とします。しかし、入館者数が市内全5館のうち3番目と比較的高く地域住民の満足度が高いことから、他施設との複合化を検討する必要があります。

フローチャート【2次評価】

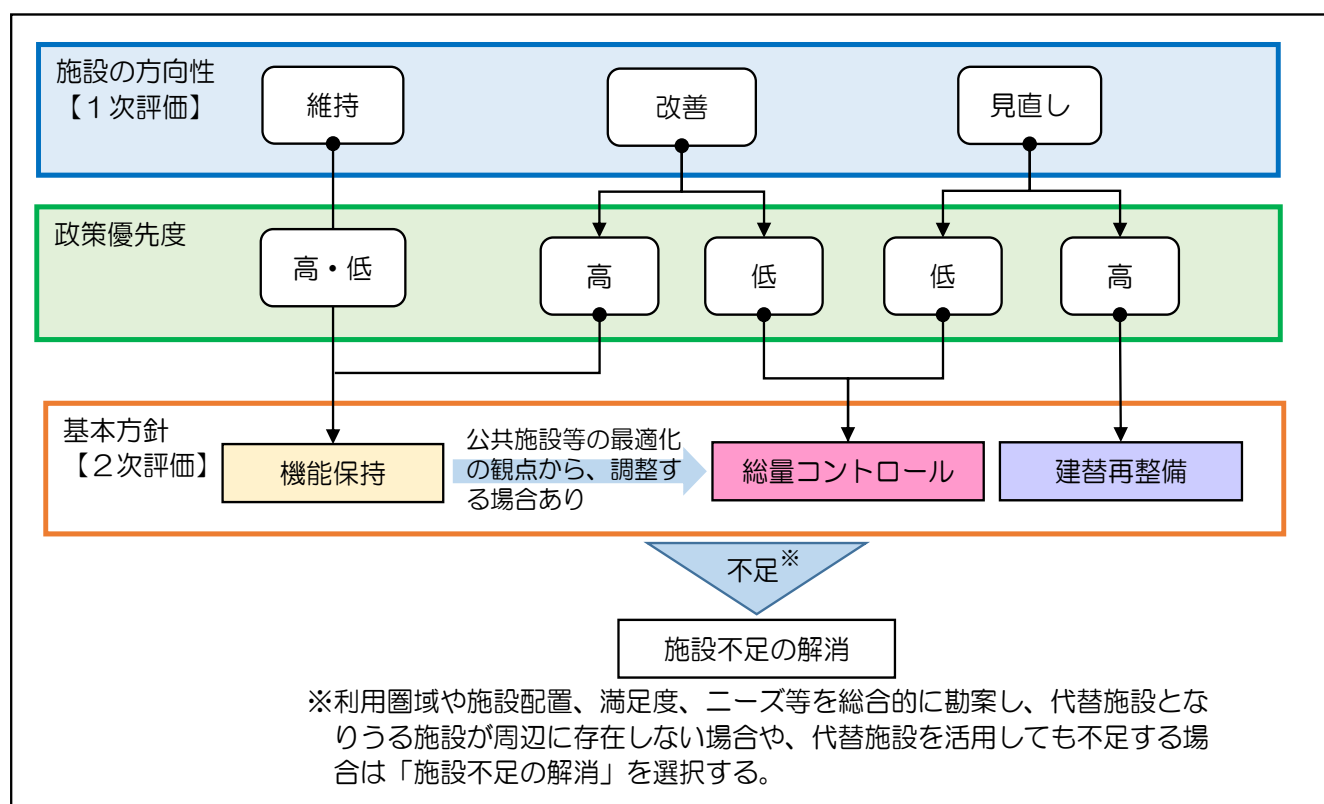


表5 政策優先度評価結果一覧

項目	細目	対象施設名										評価基準				備考		
		中央図書館		サングリモ中込図書館		臼田図書館		浅科図書館		望月図書館		A	B	C	D			
		評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	5点	3点	1点	0点			
		評価基準										評価基準						
防災性	地域防災計画上の位置付け	・防災拠点、避難所等の指定の有無		D	0	D	0	D	0	D	0	D	0	防災拠点(本庁舎・支所)	指定避難所	指定緊急避難場所	指定無し	
	①災害リスク(土砂災害)	・警戒区域等の指定の有無		B	3	B	3	B	3	B	3	C	1	/	指定無し	土砂災害警戒区域内に立地	土砂災害特別警戒区域内に立地	
	②災害リスク(洪水災害)	・浸水想定区域の指定の有無		B	3	C	1	B	3	B	3	B	3		指定無し	浸水想定区域内に立地(2m未満)	浸水想定区域内に立地(2m以上)	
施設配置・拠点形成	立地適正化計画上の位置付け(誘導区域)	・誘導区域内の立地の有無		C	1	A	5	C	1	C	1	C	1	都市機能誘導区域内に立地	居住誘導区域内に立地	都市計画区域内に立地	左記のいずれにも該当しない	
	拠点形成	・各種計画(地域防災計画を除く)等における拠点施設等の位置付けの有無		A	5	B	3	B	3	B	3	B	3	拠点施設等の位置付けがある(全市または佐久広域で1箇所)	拠点施設等の位置付けがある(概ね中学校区で1箇所)	拠点施設等の位置付けがある(概ね小学校区で1箇所)	左記のいずれにも該当しない	
	代替性	・近隣施設との代替性の有無		A	5	A	5	A	5	A	5	A	5	施設の機能や設備について、唯一性が高く、代替できる施設が市内に存在しない	施設の機能や設備の一部について、近隣施設での代替が可能	施設の機能や設備の全部について、近隣施設での代替が可能	同種同規模の施設が近隣(概ね小学校区内)に立地している	
市民意向	利用範囲	・利用者の属性を踏まえた利用範囲(居住地域)の分析		A	5	B	3	B	3	B	3	B	3	利用者が全市に満遍なく分布している	利用者の分布が概ね中学校区となっている	利用者の分布が概ね小学校区となっている	左記のいずれにも該当しない(特定団体による利用がほとんど)	
	満足度	・利用者への意向調査等を踏まえた施設に対する満足度の分析		A	5	B	3	B	3	B	3	B	3	利用者の満足度が高く、他施設と比較して優先的に措置を講じる必要がある	利用者の満足度が比較的高い	どちらともいえない	利用者の満足度が比較的低い	
	ニーズ(必要性)	・利用者への意向調査等を踏まえた施設に対するニーズ(必要性)の分析		A	5	B	3	B	3	B	3	B	3	利用者のニーズが高く、他施設と比較して優先的に措置を講じる必要がある	利用者のニーズが比較的高い	どちらともいえない	利用者のニーズが比較的低い	
合計	評価点		32		26		24		24		22							
	満点		41		41		41		41		41							
	最終評価(高・低)		高		高		高		高		高							

## 第4章 適用可能な手法の選定と具体的な対策

### 1 適用可能な手法の選定

第3章で検討した施設の基本方針に基づき、「適用可能な手法」を検討しました。適用可能な手法の検討にあたっては、下記のとおり「1次評価」と「政策優先度」を2軸とするマトリクスを用い、このマトリクスにより導き出された基本方針に対応する適用可能な手法を選択することとしました。

はじめに標準的なマトリクスを示し、次ページに本計画が対象とする図書館に係る適用可能な手法の選定に係るマトリクスを示します。

基本方針及び適用可能な手法の検討に係るマトリクス

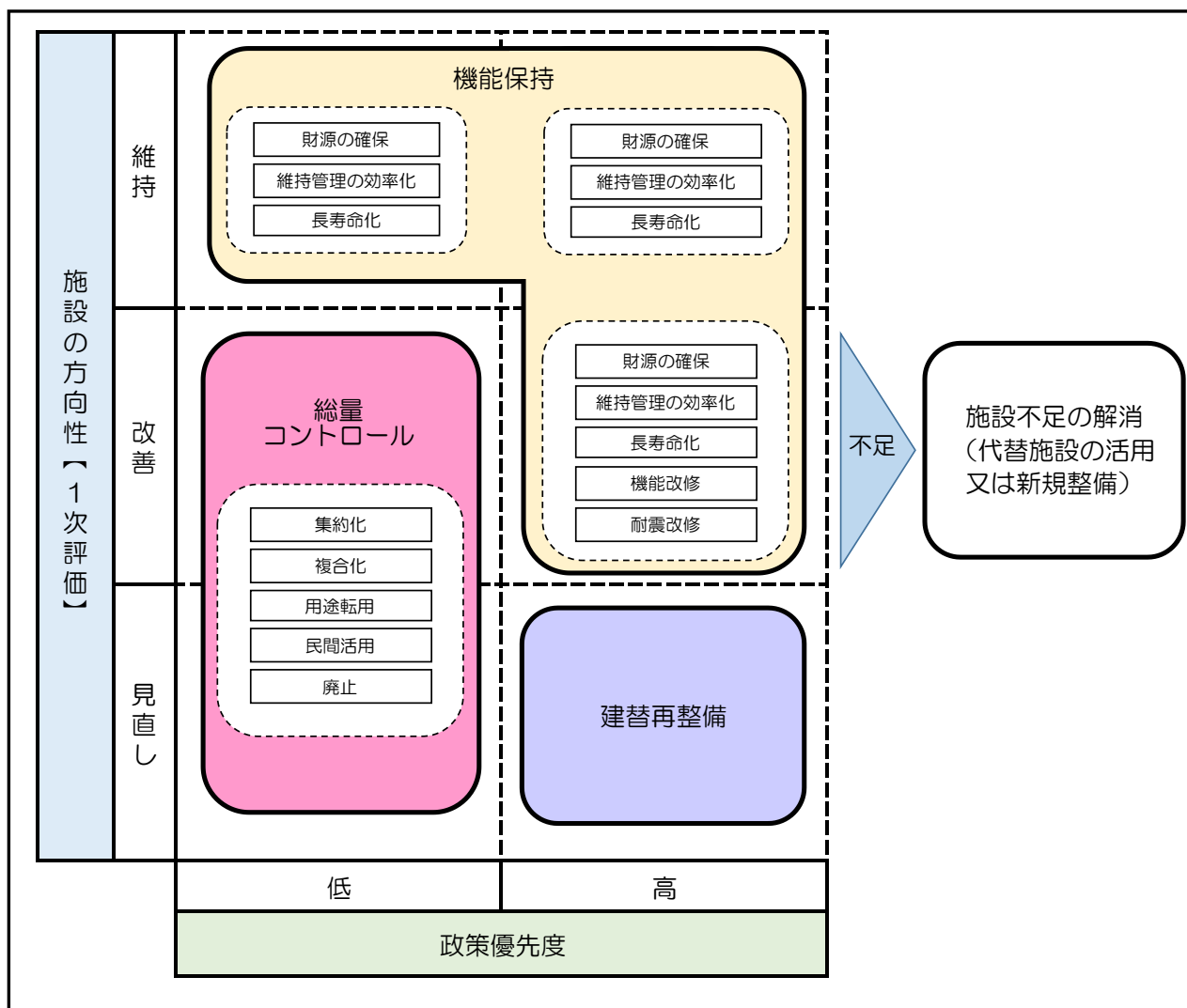
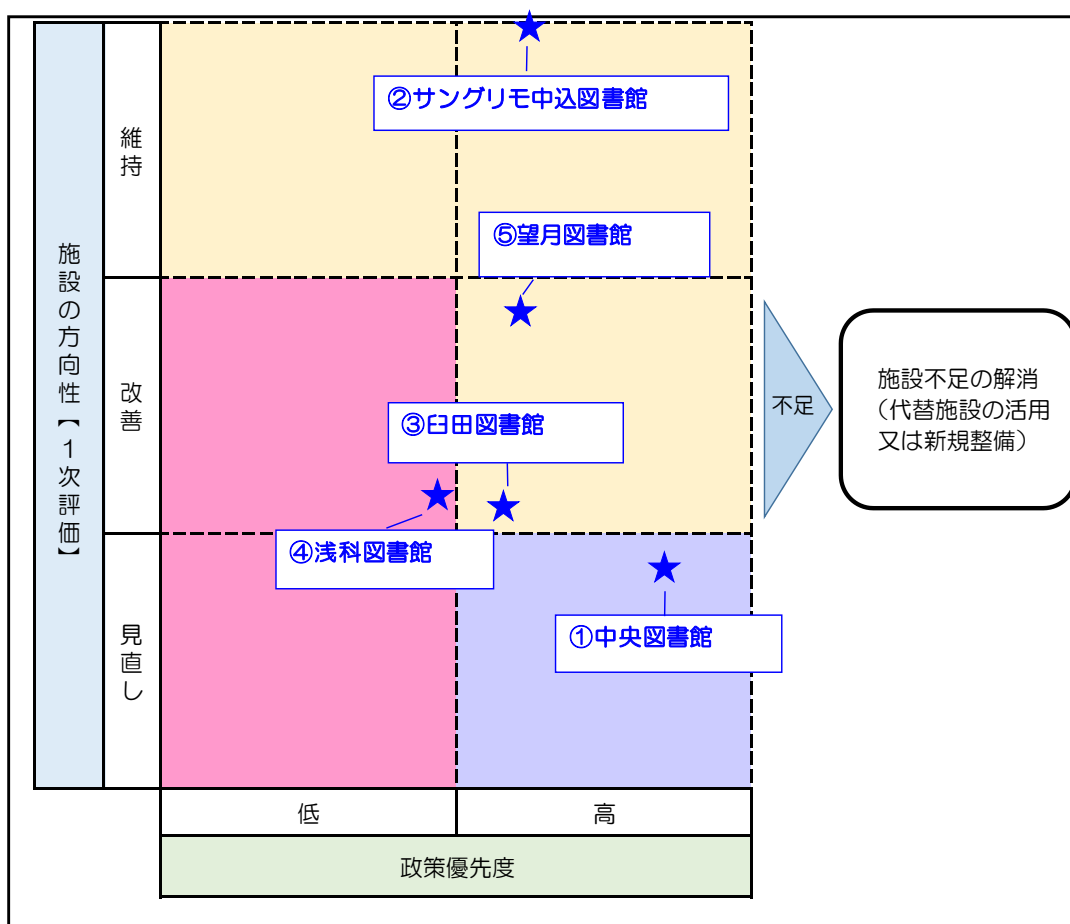


図1 図書館の基本方針及び適用可能な手法の検討に係るマトリクス



### (1) 機能保持

1次評価が「維持」の場合の適用手法は、原則として「財源の確保」「維持管理の効率化」「長寿命化」のいずれかを選択しています。

また、1次評価が「改善」で、政策優先度が「高」の場合の適用手法は、上記に「機能改修」「耐震改修」の項目を加え、いずれかを選択しています。

一方、1次評価が「見直し」で、政策優先度が「高」の場合の適用手法は、「建替再整備」を優先的に選択することとしています。

以下に「機能保持」に対応する適用手法と内容、取組事例を示します。

ア 「機能保持」の適用手法

手法	内容	取組事例
財源の確保	民間活用等により収益とサービスの向上を図り、自主財源を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間のノウハウが最大限発揮されるような自由度の高い指定管理者制度・コンセッションを導入し、施設の収益性を高め、その収益を投資して施設の維持管理や機能更新を図る。</li> <li>・施設の利用料金の見直し等の検討を行う。</li> </ul>
維持管理の効率化	効率的な運営方法や管理方法を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者や包括管理委託等により、民間のノウハウによる効率的な管理運営を図る。</li> <li>・予約システムや窓口業務のIT化により、経費の削減を図る。</li> </ul>
長寿命化 (計画的保全)	建物の耐用年数を定め、その期間適切な施設の保全が行われるよう計画的な対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全計画の策定等により保全に関する業務の効率化を図る。</li> <li>・事故等の施設に起因するリスクを回避する(予防保全)。</li> <li>・保全コストの平準化により、計画的・効率的な保全を実現し、ライフサイクルコストの削減を図る。</li> </ul>
機能改修	経年劣化や社会的劣化に対応した改修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の構造体、仕上げ、設備等の経年劣化に対応した改修を行う。</li> <li>・設備や附帯設備(トイレ、シャワー、更衣室等)等の陳腐化、利用者ニーズへの対応等、社会的劣化へ対応するための改修を行う。</li> <li>・改修に当たっては施設の運営者のニーズを十分に把握し、利用者数や利用料金等による収入の増加を想定した適切な投資を行う。</li> </ul>
耐震改修	建物の耐震性を確保するために改修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の耐震基準に対する耐震性能を満たしていない施設について、耐震改修を行う。</li> </ul>

## (2) 建替再整備

1次評価が「見直し」で、政策優先度が「高」の場合の適用手法は、「建替再整備」を優先的に選択することとしています。

以下に「建替再整備」に対応する適用手法と内容、取組事例を示します。

### ア 「建替再整備」の適用手法

手法	内容	取組事例
建替再整備	同等の機能を有する施設を適正な規模等を考慮し整備する。	<ul style="list-style-type: none"><li>・老朽化が進んでいるが政策優先度の高い施設については、建替再整備を行う。</li><li>・この際、PPP/PFIなどの民間資金を活用した事業スキームの検討、将来の人口や財政見通しを踏まえランニングコストを想定した持続的な施設の設計、運営者の収益性の確保が期待できる使いやすい施設内容検討等を通じ、将来にわたって適切なストックとなるよう十分に検討を行う。</li></ul>

## (3) 総量コントロール

1次評価が「改善」で、政策優先度が「低」の場合の適用手法は、原則として「集約化」「複合化」「用途転用」「民間活用」「廃止」のいずれかを選択しています。

また、1次評価が「見直し」で、政策優先度が「低」の場合の適用手法は、「廃止」を優先的に選択することとしています。

以下に「総量コントロール」に対応する適用手法と内容、取組事例を示します。

ア 「総量コントロール」の適用手法

手法	内容	取組事例
集約化	既存の同種の施設を統合する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>同種の施設があり、利用状況や立地を踏まえて、一つに集約した場合でも、利用者ニーズを満たすことができる等、集約化の可能性がある場合には積極的に集約化を図る。</li> <li>将来の維持管理の財源確保が難しい場合には、同種の施設の集約化を図により、施設の運営改善や機能更新を図る。</li> </ul>
複合化	当該施設以外の機能を有した施設と複合化する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の公共施設の改築などとあわせて、複合化を図る。</li> <li>異なる機能を含んだ施設になるため、複合化する施設の事業所管部局や財政部局等と調整する。</li> <li>複合化に際しても、集約化や建替再整備と同様に、質の確保や将来にわたって適切なストックとなるよう計画する視点が重要である。</li> </ul>
用途転用	施設を改修し、他の施設として利用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持していく優先度が低く、改修しても利用の見込みが低い場合等で、周辺で当該施設以外の機能が強く要請されている場合には、用途転用を検討する。</li> <li>転用用途の所管部局や財政部局等と調整する。</li> </ul>
民間活用	用途廃止を行い普通財産とした上で、民間事業者に譲渡又は貸付けを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者のノウハウを活用することで、サービスの向上や経費削減が見込まれる場合には、民間活用を検討する。</li> </ul>
廃止	用途廃止を行い普通財産とした上で、施設を解体・撤去する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持していく優先度が著しく低く、改修しても利用の見込みが低い場合等で、用途転用の必要性もない場合には、廃止を検討する。</li> </ul>

#### (4) 施設不足の解消

利用圏域や施設分布等を勘案し、代替施設となり得る施設が、市内やその周辺に存在しない場合や、代替施設を活用しても不足する場合は、新規整備を検討することとしています。

この場合、PPP/PFIなどの民間資金を活用した事業スキームの検討、ランニングコストの想定、将来人口や財政見通しを踏まえた施設設計、収益性の確保が期待できる施設内容の検討等を通して、将来に渡って適切なストックとなるよう十分な検討を行うこととします。

## 2 具体的な対策

施設毎に、34 ページに掲げるマトリクスにより導き出された基本方針に対応する適用可能な手法の選択を行いました。さらに、適用可能な手法を踏まえた具体的な対策内容及び実施時期について検討を行いました。

検討結果については、39 ページに掲げる「具体的な対策内容一覧」のとおりです。

中央図書館については、1次評価が「見直し」、政策優先度評価が「高」のため施設の基本方針は「建替再整備」とし、躯体の老朽化が顕著ことから、法定耐用年数47年を経過する令和8年度を目途に、他の施設との複合化も視野に入れ検討し建替えを行います。

中央図書館以外の4館については、計画的保全の観点からそれぞれの築年数を迎えるタイミングで長寿命化を行います。合わせて窓口業務の効率化を図るため、民間活力を活用し業務の部分委託を短期の期間内を目途に検討を行います。

また、浅科図書館は施設が木造であることから、長期の期間内を目途に、その時点での劣化状況を踏まえ、浅科地域内の他施設との複合化を検討します。

加えて、望月図書館は利用状況が年々減少傾向にあることから、利用者数に応じた施設規模の見直しを行います。



表6 具体的な対策内容一覧

No.	種別	施設名	地区	経過年数	構造	基本方針	適用手法	具体的な対策内容	実施時期			延床面積	
									短期 (~R8)	中期 (R9~R18)	長期 (R19~R38)	現状値 (㎡) R2年度時点	見込値 (㎡) R38年度時点
1	図書館	中央図書館	浅間	42年	RC造	建替再整備	建替再整備	・躯体の劣化が顕著なことから、法定耐用年数47年を経過する令和8年度までを目途に、施設の建替えを行う。また、他の施設との複合化も視野に入れ検討する。	○			1,669.88	1,669.88+α
2	図書館	サングリモ中込図書館	中込	13年	鉄骨造	機能保持	長寿命化 (計画的保全)	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に長寿命化を行う。			○	244.37	244.37
3	図書館	臼田図書館	臼田	30年	SRC造	機能保持	長寿命化 (計画的保全)	・施設の劣化状況を踏まえ、中期の期間内を目途に長寿命化を行う。		○		620.00	620.00
4	図書館	浅科図書館	浅科	29年	木造	機能保持 【総量コントロール】	長寿命化 (計画的保全) 【複合化】	・施設の劣化状況を踏まえ、中期の期間内を目途に長寿命化を行う。 ・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に浅科地域内の他施設との複合化を検討する。		○	○	966.70	700.00
5	図書館	望月図書館	望月	27年	RC造	機能保持	長寿命化 (計画的保全)	・中期の期間内を目途に長寿命化を行い、合わせて利用者数に応じた施設規模の見直しを行う。		○		1,243.90	778.89
								項目	確認欄				
								①住民ニーズへの適切な対応	○	延床面積合計 (㎡)		4,744.85	4013.14+α
								②人口減少を見据えた整備更新（規模の縮小等）	○	削減面積 (㎡)		732	
								③施設の統（廃）合・複合化等による総量の縮減	○	削減率		15%	
								④民間活力の活用によるコスト縮減	○				
								⑤予防保全的維持管理の実施	○				

【※確認欄 適合：○、不適合：×、非該当：—】

## 第5章 対策費用の概算と実施時期

### 1 対策費用の概算

施設の建替え・大規模改修に係る対策費用の概算について、総合管理計画との整合を図るため、同一の積算方法を用いて試算を行いました。なお、試算にあたっては、下記のとおり試算条件を設定しています。

#### (1) 試算条件

試算条件については、原則として、建替え・大規模改修単価、延床面積、試算方法のいずれも総合管理計画と同一としています。

なお、参考までに、総合管理計画における建替え及び大規模改修単価に関する記述を下記のとおり引用します。

#### 【建替え及び大規模改修単価】

各施設の試算単価は、(財)自治総合センター「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」から、施設用途別に大規模改修及び建替え単価を用います。また、各試算単価を建設工事費デフレーターにより調整します。

#### (2) 試算結果

試算条件を踏まえた施設毎の建替え・大規模改修に係る試算結果については、下表のとおりです。

建替え・大規模改修に係る試算結果 (単位：千円)

施設名	大規模改修	建替え	備考
中央図書館	—	718,048	総合管理計画の 試算方法による
サングリモ中込 図書館	63,536	—	
臼田図書館	161,200	—	
浅科図書館	251,342	—	
望月図書館	202,511	—	

## 2 実施時期

建替え・大規模改修の実施時期の前提となる耐用年数については、総合管理計画と同様に、税法上、固定資産の減価償却費を算出するために定められた「法定耐用年数」ではなく、物理的な耐用年数にも考慮し、大規模改修については建築後30年を、建替えについては建築後60年を、それぞれ目安とし、健全性・機能性評価の結果を踏まえて設定しています。

ただし、中央図書館については、経過年数による躯体の劣化や損傷が激しいため、法定耐用年数である47年（鉄筋コンクリート造）を基準として、建替えについては建築後47年を実施時期として設定しました。

これらを踏まえた施設毎の建替え・大規模改修に係る実施時期については、45ページに掲げる「工程表」のとおりです。

なお、参考までに、総合管理計画における耐用年数に関する記述を下記のとおり引用します。

### 【耐用年数】

標準的な耐用年数とされる60年を採用。ただし、設備などの耐用年数が15年であることから、30年目に大規模改修を行うと仮定。

### 3 維持管理に係る費用の推計

施設の維持管理費については、建替え・大規模改修に伴う延床面積の減少や、技術革新に伴う設備面での省エネ化、長寿命化、さらには指定管理者制度をはじめとする民間活力の導入等により、コスト削減が期待できることから、これらの影響額についても試算しています。

施設毎の維持管理費の試算結果については、43 ページに掲げる「維持管理に係る費用の推計一覧」のとおりです。

表7 維持管理に係る費用の推計一覧

(単位：千円)

No.	種別	施設名	縮減の考え方	単年度あたりの維持管理費			年次計画			③計画期間合計	④縮減額 (=A③-B③)	
					①コスト	②収入	実質コスト (=①-②)	短期 (R4~R8)	中期 (R9~R18)			長期 (R19~R38)
1	図書館	中央図書館	【方針】 建替えのタイミング(令和8年度までを目途)で機器(空調等)を刷新することにより、エネルギーの効率化を見込み、光熱水費の削減を図る。  【対策】 コストについては、年間260千円削減する。	A 現状	36,967	75	36,892	184,460	368,920	737,840	1,291,220	7,800
				B 対策後	36,707	75	36,632	184,460	対策 366,320	732,640	1,283,420	
2	図書館	サングリモ中込図書館	【方針】 令和7年度から照明をLED化することにより、電気料の縮減を図る。  【対策】 コストを年間60千円削減する。	A 現状	1,948	13	1,935	9,675	19,350	38,700	67,725	1,920
				B 対策後	1,888	13	1,875	対策 9,555	18,750	37,500	65,805	
3	図書館	臼田図書館	【方針】 光熱水費は複合先のコスモホールにおいて支出しているため、経費は現状維持とする。  【対策】 コスト、収入について、現状維持とする。	A 現状	4,615	3	4,612	23,060	46,120	92,240	161,420	0
				B 対策後	4,615	3	4,612	対策 23,060	46,120	92,240	161,420	
4	図書館	浅科図書館	【方針】 ・中期の期間内を目途に長寿命化を行う際に、空調等を刷新することによりエネルギーの効率化を見込み、光熱水費の削減を図る。 ・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に複合化の要否を検討する。  【対策】 ・コストを年間100千円削減する。 ・複合化となった場合は年間20,286千円不要となる。	A 現状	4,789	14	4,775	23,875	47,750	95,500	167,125	21,100
				B 対策後	4,689	14	4,675	23,875	対策 47,350	74,800	146,025	
5	図書館	望月図書館	【方針】 中期の期間内を目途に施設規模の見直しを行うことにより、事業運営に係るコストの削減を図る。  【対策】 コストを年間260千円減額する。	A 現状	3,937	18	3,919	19,595	39,190	78,380	137,165	5,720
				B 対策後	3,677	18	3,659	19,595	対策 38,670	73,180	131,445	
※1 コスト：佐久市公共施設運営・利用状況調書(施設カルテ)の「3 コスト状況、利用状況」歳入欄(令和2年度)から再調達価格及び人件費を除いた額を引用すること。										i 現状の実質コスト合計(A欄の合計)	1,824,655	
※2 収入：佐久市公共施設運営・利用状況調書(施設カルテ)の「3 コスト状況、利用状況」歳入欄(令和2年度)から引用すること(普通建設事業費に係る国・県補助金等は除く)。										ii 縮減した場合の実質コスト合計(B欄の合計)	1,788,115	
										縮減額合計(=i-ii)	36,540	

## 4 工程表

前章で検討した施設毎の具体的な対策について、対策費用、実施時期及び維持管理費を工程表としてまとめました。

「工程表」については、45ページのとおりです。

なお、工程表は、令和8年度までを短期スケジュール、令和9年度から令和18年度までを中期スケジュール、令和19年度から令和38年度までを長期スケジュールとして構成しており、短期スケジュールについては、実施計画との整合を図っています。

表8 工程表

(単位：千円)

No.	種別	施設名	基本方針	適用手法	スケジュール			合計	
					短期 (R4~R8)	中期 (R9~R18)	長期 (R19~R38)		
1	図書館	中央図書館	建替再整備	建替再整備					
					概算費用	718,048			718,048
					維持管理費用	184,460	366,320	732,640	1,283,420
2	図書館	サングリモ中込図書館	機能保持	維持管理の効率化 長寿命化 (計画的保全)					
					概算費用		63,536		63,536
					維持管理費用	9,555	18,750	37,500	65,805
3	図書館	臼田図書館	機能保持	維持管理の効率化 長寿命化 (計画的保全)					
					概算費用		161,200		161,200
					維持管理費用	23,060	46,120	92,240	161,420
4	図書館	浅科図書館	機能保持 【総量コントロール】	維持管理の効率化 長寿命化 (計画的保全) 【廃止】					
					概算費用		251,342		251,342
					維持管理費用	23,875	47,350	74,800	146,025
5	図書館	望月図書館	機能保持	維持管理の効率化 長寿命化 (計画的保全)					
					概算費用		202,511		202,511
					維持管理費用	19,595	38,670	73,180	131,445
							i 大規模改修・建替費用	1,396,637	
							ii 維持管理に係る費用	1,788,115	
							計画期間に係る費用合計 (= i - ii)	3,184,752	